



- ・児童の実態
- ・保護者の願い
- ・地域の実情、要請
- ・社会の変化
- ・各種法令、規則等

学校運営協議会

- ・学校と保護者、地域が連携・協働し、児童の豊かな成長を支える「地域とともにある学校づくり」を目指し、「学校運営協議会」を設置している。
- ・年間5回の会議(5月、7月、9月、12月、2月)
- ・運営協議会は、10名の委員で構成している。
- ・委員から、学校運営等に関しての意見をいただく。そして、ともに学校をつくるという役割を担っていただく。

学校教育目標

心豊かに、進んで未来を切り拓く力をもつ子の育成

目指す学校像

- ア 明るく活気のある学校
- イ 互いに支え合う学校
- ウ 学び合い、高め合う学校
- エ 地域と協働し、地域から信頼される学校

目指す児童像

- ア 元気な子
- イ 思いやりのある子
- ウ 進んで学ぶ子

目指す教師像

- ア 子供とともに歩む教職員
- イ 健康で、人間性豊かな教職員
- ウ 向上心にあふれ、信頼される教職員
- エ 使命感をもち、誠実に取り組む教職員

学校経営の方針

学習指導要領の趣旨を踏まえながら、学校教育目標の具現化に努める。

国 学習指導要領

一人一人の児童が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにする。

県

栃木県教育振興基本計画 2025-とちぎ教育ビジョン-
とちぎに愛情と誇りをもち 未来を描き ともに切り拓くことのできる 心豊かで たくましい子を育てます

町

上三川町教育大綱
「学び合い、育ち合い、つながり合う」教育の町づくり

PTA、学校支援ボランティア、図書ボランティア、交通指導員、スクールガード、見守り隊等の協力

元気な子を育成するために

- ア 体力向上を目指した実践の工夫
 - ・体力増強計画に基づいた継続した体力向上
 - ・外遊びの奨励による運動に親しむ機会の設定
- イ 教育相談等の充実
 - ・児童観察と各種アンケート等による児童理解と相談しやすい雰囲気づくりをもとにした教育相談の実施
 - ・SCとの連携による情報共有と、児童が抱える課題の早期把握と早期解決
 - ・家庭や関係諸機関との連携による児童の不安や悩みの解消
- ウ 食に関する指導の充実
 - ・食物アレルギー疾患を有する児童への適切な対応

思いやりのある子を育成するために

- ア 児童指導の充実
 - ・児童の主体性や自己指導能力、自己有用感を育む取組の工夫
 - ・基本的な生活習慣に関する指導及び規範意識の醸成を図る指導の充実
- イ 道徳教育の充実
 - ・自己の生き方について考えを深める授業実践
- ウ 人権教育の推進
 - ・適切な言語環境の整備と指導
 - ・学級への所属意識の高揚と互いのよさを認め合える集団づくり
- エ 環境教育の推進
 - ・潤いのある学校環境づくりを目指した清掃活動や奉仕活動の推進

進んで学ぶ子を育成するために

- ア 教科指導の充実
 - ・児童の主体性や表現力を育成するための工夫
 - ・ねらいと振り返り、個に応じた指導等による基礎基本の確実な定着
- イ 特別活動の充実
 - ・児童の主体性を生かした活動の支援
- ウ 総合的な学習の時間「かがやき」の充実
 - ・地域の人、もの、自然環境等を生かした授業実践
- エ ICTを活用した取組の推進
 - ・ロイロノート等の活用による授業実践の工夫
- オ 学校図書館教育の充実
 - ・学校図書館司書や図書ボランティアとの連携による児童の読書活動の充実
- カ 国際理解教育の推進
 - ・担任を中心にALTと連携を図った授業の充実

校務分掌による専門部の活動

- ・「学習指導部」「児童指導部」「保健安全指導部」の専門部を設定。
- ・専門部ごとに、以下のような手順で課題解決を図るために協議を行い、主体的に取組を実施する。

- ①解決すべき課題の把握
- ②重点目標の設定
- ③学期ごとの課題設定
- ④具体的な取組の実施と検証

特色ある学校づくりを推進します

- ア 稲作を含めた体験活動の推進
 - ・地域や保護者等との連携による稲作活動や栽培活動
- イ 縦割り班活動の充実
 - ・好ましい人間関係の醸成
 - ・高学年のリーダーシップや主体性を育むような機会の設定
- ウ 折り紙を取り入れた教育活動の推進
 - ・折り紙に関わる学習の充実

地域とともにある学校づくりを推進します

- ア 地域の教育力を生かした学校づくりの推進
 - ・学校運営協議会の参画
 - ・地域人材を生かした教育活動
 - ・学校支援コーディネーターや学校支援ボランティアとの連携、協力
 - ・HPや学校だより等による周知
- イ 教育環境の整備と充実

安全教育の充実に努めます

- ア 安全に関する意識の向上を図る教育の充実
 - ・交通安全への意識の高揚と危険回避のための指導の充実
- イ 家庭や地域、関係機関との連携による児童の安全確保
 - ・スクールガードや見守り隊等との連携による児童の安全確保
 - ・学区内における危険箇所の情報共有

教職員の資質の向上に努めます

- ア 校内研修の充実と自己研修の推進
 - ・学校課題を意識した授業実践
 - ・一人1授業の公開による指導力の向上
- イ ICTを活用した授業実践の工夫
 - ・ICTの効果的な活用を目指した実践の工夫
- ウ 教職員間の協働体制の確立

特別支援教育の推進に努めます

- ア 効果的な支援体制の構築
 - ・校内支援委員会の開催による配慮の必要な児童の情報共有と対応
- イ 特別支援教育の視点を生かした授業の実践
 - ・児童への明確な指示や情報の視覚化
 - ・学びに向かう環境づくり
- ウ 個別的教育支援計画の活用・充実
 - ・配慮を要する児童への指導の工夫